



## 校長室だより

学校と家庭・地域を結ぶ架け橋通信

第23号 令和4年2月28日

小美玉市立美野里中学校

### ポストコロナに思いを馳せて

オミクロン株による第6波は、現在も猛威を振るい続け、ピークは過ぎたと言われつつも、高止まりの状況になっています。デルタ株に比べ、子供への感染が急増しているのも特徴の一つです。さらに、オミクロン株の一種である「BA.2」の市中感染が出ているという不気味な報告もあります。

今年度も私たちはコロナウィルスに苦しめられ、残念な思いをしてきました。

修学旅行もスキー宿泊学習も中止になってしまいました。美風祭も中止になりました。新人戦の試合数も制限されました。予定していた特別な日を、思いどおりに過ごすことができないのは、何という残念なことか、身にしみて分かりました。

自分自身や家族が罹患した人は、症状に苦しめられ、不安な思いに駆られました。

経口薬が開発され、広く行き渡ることが、コロナ禍の収束には不可欠だと言われています。インフルエンザのように、罹患しても1週間程度で完治するようになれば、それは収束と言えるのだと思います。そうした日が、遠からずやってくることを心待ちにしています。

コロナ禍が収束したら、美野里中生は、またどんなダイナミックな活動を再開し出すのだろうと思いを馳せます。

- ・ 美中祭や美風祭などで、全校で思う存分、体験活動をさせてあげたい。
- ・ 友達と語り合い、笑い合う活動をさせてあげたい。
- ・ いろいろな方々に学校に来ていただき、より豊かな学習をさせてあげたい。

もちろん、このコロナ禍にあっても、制限のある中、先生方は知恵を絞って、いろいろな活動を企画してくださいました。また、生徒たちは、自主的に様々な活動を展開してきました。それはそれで、大きな財産となりました。

直近では、生徒会役員が中心となって、毎週校門前であいさつ運動を繰り広げてくれています。

2月25日（金）6校時には、生徒会が中心となって、みんなで盛り上がりとう「全クラス対抗クイズ・ビンゴ選手権」を催してくれました。2年生は、スキー宿泊学習で披露するはずだった出し物や事前に取り組んできた5分前行動の成果等を学年集会の場で発表しました。子ども議会も中止になってしまいましたが、議長団を任されていた生徒の準備や成果をビデオに収めることができました。また、26日（土）に行われた県主催「第20回読み聞かせコンクール」では、演劇部が練習を重ねてきた成果を発揮し、高校生に混じった中で、見事優勝となる県知事賞を受賞しました。



どうか、この前向きさを忘れず、もう少し耐えて、踏ん張ってほしいと思います。

明日から3月。今のクラス、今の学校との別れと新しいクラス、新しい学校での出会いの季節が迫っています。一期一会。素晴らしい人と人との別れと出会いになるよう、困難な時期ではあるけれど、自分磨きを続けてほしいと願っています。